

創造・参加・実践
No.630

最新のJR西労組運動をチェックしよう!

JR西労組HP (http://www.jrw-union.gr.jp)



ダイレクトニュース(メール)



JR西労組 LINE



西日本旅客鉄道労働組合

〒530-0012 大阪市北区芝田2丁目1番18号

西 阪 急 ビ ル 9 階

TEL06-6375-9869代 JR071-7155代

(FAX)06-6373-4133 JR071-7151

発行責任者 荻山 市朗

編集責任者 宮野 勇馬

JR西労組 第7回政策シンポジウム開催!

桃太郎線ライトレール化の 早期実現に向け約300人が参加!

JR西労組中央本部は、5月28日(火)岡山コンベンションセンターに於いて、地方公共交通のあり方や、吉備線LRT化(桃太郎線ライトレール化)をテーマに「第7回政策シンポジウム」を開催した。JR西労組主催の政策シンポジウムは、2004年に岡山で開催して以来15年ぶりとなる。会場には、大森岡山市長、片岡総社市長、JR西日本岡山支社有田支社長、JR連合松岡会長をはじめとする来賓の方々、岡山県交運協やJR西日本連合で働く仲間、各地本・総支部の組合員など総勢300名が集まった。

荻山委員長は、挨拶のなかで、今回のシンポジウムを岡山で開催した目的として、「政策活動の成果として大きく動き出した吉備線

LRT化の具体例に学ぶとともに、地域が一体となつてプロジェクトの早期実現と成功につなげるために、組合側から内外に発信する

ことを挙げた。また、「LRTは建設すれば直ちに成功するというわけではない。沿線の再開発、駅からの二次アクセスなどについて、地域が一体となつて検討、

促進していただくことが重要となる。このシンポジウムを機会に、まずは運営を担う側の労働組合としてLRT化の意義を理解し、社会に発信していきたい」と

述べた。その後、一般社団法人グローカー交流推進機構の土井理事長より、「公共交通が果たすべき役割」と題する基調講演をいただいた。

講演のなかで、土井理事長は、「人口減少の時代、都市の維持コストを少なくするために、公共交通の「東ねる」役割は重要性を増す」と指摘。さらに、「吉備線LRT化は、クルマ型のまちから公共交通のまちへと変わる重要なメッセージになる」と述べた。

中央本部の宮野政策・調査部長から、JR西労組の取り組みについて紹介があった。後、「LRTを活かしたまちづくりに向けて」と題してパネルディスカッションを行った。

「パネルディスカッションでは、ラグダ岡会長より、「鉄道などの公共交通は人口を増やす力がある。社会のインフラとして社会が支



片岡総社市長



大森岡山市長



荻山委員長



有田岡山支社長



グローカー交流推進機構 土井理事長による基調講演



各界の方々から多くの意見が出された



来賓をはじめ、組合員、働く仲間、総勢300名が参加

第2回政策調査委員会 真摯に討議を行う!

委員会は、宮野政策・調査部長より、これまでの経過として、JR西労組を各地本・総支部から20名の担当役員が出席した。政策シンポジウムを翌日に控え、前段に吉備線の視察を行い、委員会メンバーはLRT化の効果などについて見識を深めた。

委員会では、宮野政策・調査部長より、これまでの経過として、JR西労組を各地本・総支部から20名の担当役員が出席した。政策シンポジウムを翌日に控え、前段に吉備線の視察を行い、委員会メンバーはLRT化の効果などについて見識を深めた。

陳情等を行っていること、北陸新幹線の建設費用について、追加負担を求められる動きがあったが、先送りしていることなど、多くの課題に向けてJR連合と連携して取り組んでいることが報告された。

また、三江線の廃止問題に代表される地方ローカル

5月27日(月)、岡山地本会議室に於いて、第2回政策・調査委員会が開催され、各地本・総支部から20名の担当役員が出席した。政策シンポジウムを翌日に控え、前段に吉備線の視察を行い、委員会メンバーはLRT化の効果などについて見識を深めた。

委員会では、宮野政策・調査部長より、これまでの経過として、JR西労組を各地本・総支部から20名の担当役員が出席した。政策シンポジウムを翌日に控え、前段に吉備線の視察を行い、委員会メンバーはLRT化の効果などについて見識を深めた。

特に、西日本豪雨に関連した補助、各種法制度の改善に向けて国土交通大臣への

陳情等を行っていること、北陸新幹線の建設費用について、追加負担を求められる動きがあったが、先送りしていることなど、多くの課題に向けてJR連合と連携して取り組んでいることが報告された。

また、三江線の廃止問題に代表される地方ローカル

最後に、各地本・総支部からは、自治体訪問の取り組みをはじめ、地方が抱える課題についての報告が行われた。

中央本部は、引き続き政策課題の解決に向け、各地本・総支部と連携しながら、自治体訪問をはじめとする取り組みを強力にすすめていく。

2回目優勝の福知山地本

福知山地方本部が2回目の優勝!

第6回フットサル大会

JR西労組「第6回フットサル大会」は、5月13日(月)、14日(火)の2日間、大阪府本都心管内の、ノアフットサル久宝寺において盛大に開催された。

各地方本部・本社総支部から13チームの選手及び事務局含め、約170名の参加者が出場した。

阪地方本部主管のもと、ノアフットサル久宝寺において盛大に開催された。

各地方本部・本社総支部から13チームの選手及び事務局含め、約170名の参加者が出場した。

優勝は和歌山地方本部、第3位は大阪地方本部、第4位は神戸地方本部となった。今大会を盛り上げて頂いた大阪地方本部及び選手の皆様、ありがとうございました。

優勝 福知山地方本部
準優勝 和歌山地方本部
第3位 大阪地方本部
第4位 神戸地方本部
第5位 米子地方本部
第5位 福岡地方本部
第5位 本社総支部
第5位 金沢地方本部

最後に、各地本・総支部からは、自治体訪問の取り組みをはじめ、地方が抱える課題についての報告が行われた。

中央本部は、引き続き政策課題の解決に向け、各地本・総支部と連携しながら、自治体訪問をはじめとする取り組みを強力にすすめていく。